

平成 25 年度 事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

I. 事業報告および附属明細書

当財団は、昭和 42 年 8 月設立以来、わが国の健康上の課題である「生活習慣病」に関する事業を一貫して展開している。

平成 25 年度は、「医学研究助成」および「健康増進啓蒙活動」事業の更なる効率化と予算の有効活用に注力して、事業活動を行った。

なお、平成 23 年度末に収束した「生活習慣病集団検診」事業については、問題などの発生は無い。

1. 医学研究助成

第 46 回医学研究助成は、全国の大学・研究機関の研究者を対象に公募を行い、28 件の推薦応募の中から 20 研究に対して助成を行った。第 22 回特別助成の 3 研究と併せて、総額 2,450 万円の助成金を贈呈した。

第 1 回からの助成金合計は 960 件、総額 11 億 3,250 万円となった。

2. 健康増進啓蒙活動

生活習慣病の予防・啓蒙を目的とした講演会を、8 会場で開催した。

平成 25 年度の各事業の実施状況は、次頁以下のとおりである。

なお、附属明細書は補足などの項目がない為、省略する。

1. 医学研究助成

(1) 第46回「医学研究助成」

28件の推薦応募があり、選考委員会を経て20研究を決定、平成25年9月12日に贈呈式を行い、1研究につき100万円、総額2,000万円の助成金を贈呈した。助成対象者は【別表】のとおりである。

(2) 第22回「医学研究特別助成」

第44回研究助成（平成23年度）入選者の研究報告20件を対象とし、選考委員会を経て3研究を決定、第46回医学研究助成と同日の贈呈式で、1研究につき150万円、総額450万円の助成金を贈呈した。助成対象者は【別表】のとおりである。

<第1回からの助成金累計>

	平成25年度		累 計	
	件 数	助成金額	件 数	助成金額
医学研究助成	20件	2,000万円	879件	10億3,800万円
特 別 助 成	3件	450万円	81件	9,450万円
合 計	23件	2,450万円	960件	11億3,250万円

(3) 第44回「医学研究助成」研究報告の発表

第44回研究助成入選者の研究報告を、当財団発行の「医学研究助成研究報告集」に掲載し発表した。

(4) 第47回「医学研究助成」（平成26年度実施）

平成26年1月、ホームページに募集要項を掲載した。

また、推薦依頼機関(大学・研究機関)に募集要項を送付し、推薦を依頼した。

第47回研究課題は次のとおり決定している。

- ①遠隔医療による生活習慣病管理
- ②小児臓器移植
- ③動脈硬化の画像診断
- ④膵癌に対する化学療法による生存率の改善

*応募締め切りは平成26年5月10日。

第46回「医学研究助成」20研究 総額2,000万円/1研究100万円

- 研究課題 1. 慢性心不全の運動療法
 2. 脳卒中急性期のリハビリテーション
 3. 神経内分泌腫瘍肝転移の治療
 4. 腫瘍形成型肝内胆管癌の治療成績の向上

(課題別 研究者五十音順)

研究課題	研究者	研究主題
1	佐賀大学医学部循環器内科 研究助教 浅香 真知子 他2名	慢性心不全の運動療法
1	熊本大学大学院循環器内科学 助教 泉家 康宏 他3名	骨格筋より分泌される心保護因子による慢性心不全の新規治療戦略
1	北翔大学スポーツ教育学科 教授 沖田 孝一 他6名	慢性心不全患者における血流制限を併用した筋力トレーニングの効果
1	新潟大学大学院医歯学総合研究科 特任助教 小幡 裕明 他5名	高齢心不全患者の歩行機能低下要因の解析と運動療法の効果に関する研究
1	聖マリアンナ医科大学 助教 木田 圭亮	慢性心不全の運動療法における加速度トレーニングの有用性について
1	東京大学大学院医学系研究科 特任准教授 西村 智 他1名	生体二光子分子イメージングによる心不全に伴う骨格筋機能異常と運動療法の作用機序解明
1	自治医科大学循環器内科学部門 講師 星出 聡	慢性心不全患者に対する運動療法の最適化:高感度加速度センサー内臓携帯型自由行動下血圧計を用いた検討
2	兵庫医科大学病院 作業療法士 竹林 崇 他4名	脳卒中急性期より麻痺手を生活場面での使用を促すためのiPadアプリの開発
2	高知大学教育研究部医療学系 助教 富田 江一	脳卒中後の効率良いリハビリテーションを探るモデル研究—成人大脳の可塑性を呼び起こすメカニズムの適応を目指して—
2	琉球大学大学院医学研究科 講師 宮里 実 他2名	脳梗塞ラットを用いた脳卒中後の治療難渋性尿失禁に対する早期薬物リハビリテーション介入

研究課題	研究者	研究主題
3	福島県立医科大学先端臨床研究センター 特任教授 織内 昇 他6名	褐色細胞腫の悪性度評価におけるアミノ酸トランスポーター(AT)発現の意義の解明ならびにAT阻害による肝転移の治療とバイオマーカーの開発
3	東北大学附属病院病理部 助教 笠島 敦子 他2名	膵消化管神経内分泌腫瘍における分子発現と性ステロイドの転移能制御に関する研究
3	慶應義塾大学医学部 助教 北郷 実 他3名	神経内分泌腫瘍肝転移の個別化治療へのバイオマーカー探索
3	大阪府立成人病センター 副部長 榊原 充 他1名	神経内分泌腫瘍肝転移に対する経皮的ラジオ波凝固療法の有効性と治療マージンの検討～特にbipolar方式を用いた大型結節に対する治療効果について
3	奈良県立医科大学消化器総合外科 准教授 庄 雅之 他1名	膵神経内分泌腫瘍肝転移に対する新規局所治療に関する基礎的・臨床的研究
3	北海道大学大学院医学研究科 特任教授 吉永 恵一郎 他4名	術後adjuvant I-131 metaiodobenzylguanidine(MIBG)を用いた内用療法による神経内分泌腫瘍肝転移の治療戦略構築
4	大阪大学大学院医学系研究科 助教 小林 省吾 他8名	胆管癌における炎症性サイトカインの自己/傍分泌作用のもたらす癌の悪性化の克服
4	国立がん研究センター 分野長 柴田 龍弘 他2名	腫瘍形成性肝内胆管癌における新規融合遺伝子を標的とした分子治療・診断法の開発
4	九州大学病院別府病院 講師 杉町 圭史 他3名	腫瘍形成性肝内胆管癌におけるHippoシグナル経路の異常の解析と新規分子標的治療への応用
4	東京慈恵会医科大学 教授 本間 定 他1名	腫瘍形成性肝内胆管癌に対する新しい概念による分子標的療法のアプローチ

第22回「医学研究特別助成」3研究 総額450万円/1研究150万円
 (第44回(平成23年度)「医学研究助成」研究報告を対象)

- 研究課題 1. 生活習慣病予防の運動療法
 2. 大動脈瘤
 3. 不眠
 4. 肝臓病の画像診断

(課題別 研究者五十音順)

研究課題	研究者	研究主題
1	関西医科大学第二内科学講座 講師 宮坂 陽子	肥満患者の運動療法が左室拡張能に及ぼす影響
3	広島大学医歯薬学総合研究科 教授 内匠 透	睡眠・覚醒リズムを司るリズム中枢特異的発現系の開発
4	がん研究会有明病院消化器外科 医員 有田 淳一	転移性肝癌切除患者に対するソナゾイド術中造影超音波の有用性に関する前向き臨床試験ーGd-EOB-DTPA造影MRI、造影MDCTとの比較ー

2. 健康増進啓蒙活動

生活習慣病の予防・啓蒙を目的とした一般参加型の講演会を、三井生命との共催で、以下のとおり開催した。

5月 28日	品川区東五反田（三井生命東京南支社）	参加者 109名
6月 6日	大阪市北区（三井生命大阪支社）	参加者 54名
11月 4日	鳥取市（三井生命鳥取支社）	参加者 70名
1月 22日	大阪市阿倍野区（三井生命南近畿支社）	参加者 65名
3月 4日	千葉市中央区（三井生命千葉支社）	参加者 40名
3月 5日	福岡市博多区（三井生命九州・沖縄支社）	参加者 60名
3月 6日	柏市（三井生命柏支社）	参加者 80名
3月 7日	立川市（三井生命東京西支社）	参加者 100名

内容は、(株)タニタヘルスリンクによる、参加者の体組成の機械測定および測定結果数値の解説・健康改善方法（エクササイズ・料理レシピ）など、各々の参加者にとって具体的で分かり易いものとした。

なお8会場の参加者数は合計578名となり、昨年度に比べ参加者の増大が図られた。

3. 公益法人制度改革への対応

平成20年12月1日より、公益法人制度改革3法が施行され、新法人への移行を目指して、事業活動・機関設計、会計・財務・財産、情報公開、内部統制など、公益認定基準との整合性の確保を目指し検討を進めてきた。

平成22年12月、厚生労働省から「最初の評議員の選任方法」の許可書を取得した。

平成24年11月の理事会において、上記「最初の評議員の選任方法」に基づき、新公益法人移行時の最初の評議員候補者の推薦の決議を行い、平成25年1月「最初の評議員選定委員会」を開催し、最初の評議員の選定を行った。

平成25年5月開催の理事会・評議員会にて、新公益法人移行認定申請の決議を行い、7月3日内閣府宛、移行認定申請を行った。

その後、公益認定等委員会事務局より申請資料の一部（定款・報酬規程など）の変更要請に対応した結果、10月25日付にて公益認定等委員会より内閣総理大臣宛、当財団の移行認定申請について、認定基準に適合すると認めるのが妥当の旨、「答申」が行われた。定款・報酬規程の変更については、11月20日付「第177回理事会」12月20日付「臨時評議員会」において、決議が行われた。

平成26年3月19日「認定書」を授受。

平成26年4月1日の新公益法人への移行登記を行い、受理された。

II. 理事会、評議員会に関する事項

第175回理事会 平成25年 5月22日(水)開催

- (1) 平成24年度事業報告、決算報告(収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録)認定の件
原案どおり認定された。
- (2) 新公益法人移行認定申請の件、寄付行為(定款)変更の件
原案どおり決議された。
- (3) 評議員推薦の件
朝比奈豊氏、北山禎介氏、幸田正孝氏、福内靖男氏、三宅明氏が再任された。

第48回評議員会 平成25年 5月22日(水)開催

- (1) 平成24年度事業報告、決算報告の件
- (2) 平成25年度事業計画、収支予算報告の件
(1)(2)とも全員の諒承を得た。
- (3) 新公益法人移行認定申請の件、寄付行為(定款)変更の件
原案どおり決議された。
- (4) 理事および監事選任の件
理事には、星田繁和氏、高島豊氏、赫彰郎氏、長谷川慧重氏、萬年徹氏が再任され、新たに有末真哉氏、梶浦卓一氏が選任された。

第176回理事会 平成25年 5月22日(水)開催

- (1) 理事長互選の件
理事長には、星田繁和氏が選任された。

第177回理事会 平成25年11月20日(水)開催

- (1) 平成25年度上半期事業報告の件
①平成25年度上半期の事業概況および収支計算
②平成25年度下半期の事業および収支計算見込み
全員の諒承を得た。
- (2) 第47回「医学研究助成」事業計画決定の件
原案どおり決定された。
- (3) 新公益法人移行認定申請書の「定款」および「報酬規程」の一部変更の件
原案どおり決議された。

臨時評議員会 平成25年12月20日(火)開催

- (1) 新公益法人移行認定申請書の「定款」および「報酬規程」の一部変更の件
原案どおり決議された。

第178回理事会 平成26年 3月26日(水)開催

- (1) 平成25年度事業概況および収支計画見込み報告の件
- (2) 平成26年度事業計画および収支予算案決定の件
(1)については全員の諒承を得た。
(2)については原案どおり決定された。

III. 理事、監事、評議員の異動に関する事項

- (1) 評議員 石井當男氏、西村博氏、和田達雄氏は、平成25年5月22日に辞任された。
- (2) 理事 大島剛氏、岡野健一氏、山本幸央氏は、平成25年5月22日に辞任された。
- (3) 有末真哉氏、梶浦卓一氏は、平成25年5月22日、理事に就任された。
- (4) 監事 上田英文氏は、平成25年5月22日に辞任された。
- (5) 中島拓之氏は、平成25年5月22日、監事に就任された。
- (6) 評議員 津末博澄氏、福内靖男氏、三宅明氏は、平成26年3月31日に辞任された。
- (7) 理事 佐野陽子氏、萬年徹氏は、平成26年3月31日に辞任された。
- (8) 佐野陽子氏、萬年徹氏は、平成26年4月1日、評議員に就任された。
- (9) 高本眞一氏は、平成26年4月1日、理事に就任された。